

博慈会だより

博慈会記念総合病院特集

(博慈会記念総合病院)



(正面玄関)



老人病研究所付属病院
(外来リハビリテーション室)

目次

理事長挨拶	2
財団法人博慈会 理事長 三瓶 広幸	
新院長就任挨拶	3
博慈会記念総合病院 院長 岡田 憲明	
診療科別地域連携担当医表	
博慈会記念総合病院 診療科紹介	
呼吸器科 部長 竹中 圭	4
循環器科 部長 平澤 泰宏	
糖尿病・内分泌科 院長 岡田 憲明	5
消化器科 部長 長田 祐二	
小児科 部長 飯塚 雄俊	6
腎臓内科 部長 西郷 俊吾	
放射線科 部長 福永 毅	7
外科 副院長 吉村 和泰	
脳神経外科 部長 立山 幸次郎	8
形成外科 部長 大木 琴美	
眼科 副院長 富川 節子	9
泌尿器科 部長 猪股 出	
整形外科 部長 鹿野 瑞	10
歯科口腔外科 部長 岩瀬 正泰	
特殊専門領域診療一覧表	11
各部門からのお知らせ	12
外来リハビリテーションの開始について リハビリテーション科	
グループ施設紹介	
老人病研究所付属病院 院長 小倉 篤	13
博慈会腎クリニック 院長 大沢 弘和	
博慈会記念こどもクリニック 院長 田島 剛	14
診療体制紹介	15
交通案内 編集後記	16



財団法人博慈会

博慈会記念総合病院

厚生労働省臨床研修病院・東京都災害拠点病院

老人病研究所

老人病研究所附属病院

療養型医療施設・介護療養型医療施設

博慈会腎クリニック

博慈会記念こどもクリニック

小児科救急医療24時間対応

博慈会高等看護学院

ご挨拶

～平成22年度の新体制にあたって～

財団法人博慈会
理事長 三瓶 広幸



就任することになりました。これまで以上に救急医療や小児救急、医療安全や院内感染防止への取り組みなど、地域のニーズに合った医療、安全な医療の提供に努めていく所存であります。

なお、医療業界を取り巻く環境は厳しい状況ではありますが、私たちは今までと同様に、患者様の目線に立った医療の提供を目指して、意識改革を絶えず行い、あらゆる面で運営のあり方の見直しを心がけていきます。患者様や地域の方々に信頼され、新体制になってさらに良くなったと実感していただけるよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財団法人博慈会は、昭和40年に足立区鹿浜の地に設立され、40年余りの歴史を重ねてきました。当財団では、6施設（博慈会記念総合病院、老人病研究所、老人病研究所附属病院、博慈会腎クリニック、博慈会記念こどもクリニック、博慈会高等看護学院）を擁し、設立当初から「地域医療に徹する」・「救急医療体制を確保する」・「患者様本位の高度先進医療を提供する」の3本の旗幟を掲げ、積極的に医

療を推進しております。さて、一昨年の11月に私が財団法人博慈会の理事長に就任いたしました、はや1年半が経過いたしました。そして新年度にあたり、法人としての新たな出発のため組織改編を行い、新体制で更なる発展の一步を踏み出すことといたしました。財団法人博慈会の医療統括責任者に博慈会記念総合病院の小川前院長が、博慈会記念総合病院の院長に岡田前院長代理が

財団法人博慈会は、地域の健康を支える医療・福祉・介護のネットワークにより、充実した連携医療を提供しています



博慈会記念総合病院



博慈会記念こどもクリニック



老人病研究所附属病院



老人病研究所



博慈会腎クリニック

院長就任の挨拶

博慈会記念総合病院
院長 岡田 憲明



医師教育の充実ならびに災害時の医療体制の確立にも全力をあげて、取り組んでいきたいと思っております。

昨今の厳しい医療界の状況の中で、地域の各医療機関との病診・病病連携の強化、各種施設や在宅療養を支援する様々な事業所との協力関係の促進、行政機関との連携を密にすることは、必須の課題と考えます。各方面の関係者の方々に、忌憚なきご意見・ご指導をいただきながら、オープンな対話・議論をさせていただき、より良い地域医療体制構築の働きの一助となることができればと願っております。当院におきましては、この4月に大幅な人事異動があり、医局もこれまで以上に充実してまいりました。そこで今回、地域連携をより強固なものにするため、各診療科の紹介を兼ねて全診療科の部長に現状ならびに今後の抱負を掲載させていただくこととしました。是非ともご参考にしていただき、患者様のご紹介はもちろんのこと、診療でお困りになっていることがございましたら、些細なことでも結構ですので、ご連絡いただければ幸いです。

まだまだ未熟者でございますが、今までと変わりなく、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

平成22年4月1日付けで、小川剛院長の後任として博慈会記念総合病院の病院長に就任いたしました。

足立区、川口市ならびに近隣地域の急性期型地域基幹病院の舵取りを託され、身の引き締まる思いがしております。

私は、13年前に日本医科大学第三内科学教室から、今井先生の後任として赴任してまいりました。当時は若干39歳でしたが、それ以来、当院の消化器・糖尿病内科の医師として、未熟ながらも勤めさせていただきました。私の赴任当時を知る人も少なくなっていますが、何事も無く今日まで、一人の内科医として成長をさせていただきました。これはひとえに三瓶理事長、小川前院長ならびに諸先生方、近隣地域の医療機関の先生方、また共に働いてきた従業員の

皆様、あるいは診療をさせていただきました患者様のお陰であると、心から感謝しております。

当院は、従来より大学病院に勤務する医師の派遣先として専門性の高い医療を提供することにより、近隣の医療機関より多数の患者様をご紹介いただいております。また、東京都の二次救急医療施設として、救急医療にも積極的に取り組んでおります。今後はより専門性を高め、高度な医療を提供することで、さらなる紹介率の上昇を目指すとともに、脳神経外科、整形外科ならびに循環器科など、救急症例の多い診療科を中心に医師の増員や当直体制を強化することで、地域のニーズに少しでも答えられるように努めていく所存です。さらに「厚生労働省臨床研修病院」ならびに「東京都災害拠点病院」に指定されており、

患者様のご紹介やご相談等がありましたら、下記の担当医にご連絡ください。担当科が不明な場合は、内科系であれば竹中医師、外科系であれば星野医師にご連絡ください。ご不明な点がございましたら、院長の岡田までご連絡をお願い致します。

診療科別地域連携担当医表

診療科	責任者	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
呼吸器科	部長：竹中 圭 部長補佐：篠田欣也	篠田欣也	竹中圭	竹中圭	竹中圭	竹中圭	篠田欣也	竹中圭	篠田欣也	竹中圭	篠田欣也	竹中圭	
消化器科 糖尿病内分泌科	部長：梶田祐二 部長補佐：海保 彦	海保彦	岡田憲明	梶田祐二	濱本達彦	海保彦	梶田祐二	海保彦	梶田祐二	海保彦	梶田祐二	梶田祐二	
循環器科	兼副院長：田中邦夫 部長：平澤泰宏	平澤泰宏	森澤太郎	田中邦夫	田中邦夫	岡崎大武	森澤太郎	岡崎大武	平澤泰宏	平澤泰宏	平澤泰宏	平澤泰宏	
腎臓内科	腎クリニック院長：大沢弘和 部長：西郷俊吾	大沢弘和	西郷俊吾	西郷俊吾	西郷俊吾	大沢弘和	西郷俊吾	大沢弘和	西郷俊吾	大沢弘和	西郷俊吾	大沢弘和	
放射線科	部長：堀内淳一(治療) 部長：福永 敏(検査・診断)	堀内(治療) 福永(検査)	堀内(治療)	堀内(治療)	堀内(治療)	福永(検査)	福永(検査)	福永(検査)	堀内(治療) 福永(検査)	堀内(治療) 福永(検査)	堀内(治療) 福永(検査)	堀内(治療) 福永(検査)	
小児科	副院長：田島 剛 部長：飯塚雄俊	田島 剛	飯塚雄俊	飯塚雄俊	田島 剛	飯塚雄俊 田島 剛	飯塚雄俊	田島 剛	田島 剛	飯塚雄俊	飯塚雄俊	飯塚雄俊	
外科	副院長：吉村和泰 部長：沖野哲也	富樫晃祥	富樫晃祥	吉村和泰	吉村和泰	吉村和泰	沖野哲也	沖野哲也	沖野哲也	沖野哲也	沖野哲也	沖野哲也	
脳神経外科	部長：立山幸次郎	立山幸次郎	國保裕子	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	
整形外科	部長：星野 瑞 部長補佐：山崎秀興	池見佳一郎	星野 瑞	谷口久樹	山崎秀興	池見佳一郎	谷口久樹	池見佳一郎	谷口久樹	池見佳一郎	谷口久樹	谷口久樹	
形成外科	部長：大木琴美	大木琴美	大木琴美	奈良慎平	大木琴美	大木琴美	大木琴美	大木琴美	大木琴美	大木琴美	大木琴美	大木琴美	
泌尿器科	部長：猪股 出	白井將文	猪股 出	猪股 出	猪股 出	猪股 出	猪股 出	猪股 出	猪股 出	猪股 出	猪股 出	猪股 出	
眼科	副院長：富川節子	村野奈緒	(手術) 富川節子	(手術) 眼科外来	村野奈緒	富川節子	富川節子	富川節子	富川節子	富川節子	富川節子	富川節子	
皮膚科	部長：扇田周太郎	扇田周太郎	-	扇田周太郎	-	扇田周太郎	-	扇田周太郎	-	扇田周太郎	-	扇田周太郎	
麻酔科	部長：小倉 忍	小倉 忍	非常勤医	小倉 忍	小倉 忍	小倉 忍	小倉 忍	小倉 忍	小倉 忍	小倉 忍	非常勤医	非常勤医	
歯科口腔外科	部長：岩瀬正泰	岩瀬正泰	立花 愛	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	

※救急診療医室については連絡ください。

診療科だより

呼吸器科・循環器科

呼吸器科

部長 竹中 圭



当科は、入院については常勤医3名、外来については常勤医3名に加え、日本医科大学呼吸器内科より非常勤医2名により、呼吸器疾患全般に対応できる体制で診療にあたっています。

とくに肺癌については、化学療法に加え、放射線科と連携し放射線治療を行う、足立区内で唯一の施設になっています。加えて外科的切除の対象となる場合には、日本医科大学呼吸器外科ならびに帝京大学医学部呼吸器外科と連携し、スムーズな転院が行える体制をとり、全て

の肺癌患者に対応できるようになっています。

また、最近増加傾向にある、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺炎等についても、診断から進行期における在宅酸素療法、在宅人工呼吸器を含めた治療にも対応しています。

医療スタッフ

竹中 圭(部長)／日本呼吸器学会専門医、日本内科学会認定内科医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療暫定教育医

篠田欣也(部長補佐)／日本呼吸器学会専門医、日本内科学会認定内科医

榊原桂太郎(医長)／日本呼吸器学会専門医、日本内科学会認定内科医

循環器科

部長 平澤 泰宏



高齢化社会となった昨今、循環器領域の疾患は非常に増加しています。高血圧をはじめ、狭心症や心筋梗塞などの心筋虚血、閉塞性動脈硬化症、頻脈や徐脈の不整脈など様々な疾患が外来では見受けられます。当院では、動脈硬化に伴い閉塞した血管をカテーテルによって広げる専門医や不整脈を専門とする医師など、バランスのとれた医師によって日常診療を行っています。とくに胸痛や胸部不快感を症状とする心筋虚血に対しては、積極的にカテーテル治療を行っており、昨年はカテーテル検査435件、カテーテル治療167件を行い、これらの疾患を治療いたしました。また、近年は下肢の動脈閉塞も多く、同疾患に対しても必要性があれば積極的にカテーテル治療を行っており、昨年は51件のカテーテル治療を行っております。下肢の動脈に狭窄が認められる患者の約4割に心臓を養っている血管(冠動脈)の狭窄が認められることから、歩行時に下肢のしびれや痛みなどが認められる方は、一度外来へご紹介ください。

また、他の施設ではあまり行っていない当院の特徴のひとつとして、昨年より当院では不整脈専門の医師も常勤となり、頻脈性不整脈に対しても積極的にカテーテルによる治療(カテーテルアブレーション)を行っています。もちろん薬物療法で治療も行っていますが、不整脈に対する薬物療法は非常に難しく、訓練を受けた医師でなければ治療は困難を要します。頻脈に限らず徐脈など、不整脈でお困りの方がいらしたら、ぜひ外来へご紹介ください。

医療スタッフ

小川 剛(医療統括責任者)／医学博士、日本内科学会認定内科医・指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心臓リハビリテーション学会評議員、心臓機能障害指定医

田中邦夫(筆頭副院長)／医学博士、日本内科学会認定内科医・指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本集中治療医学会関東甲信越地方会評議員、日本心血管インターベンション学会指導医・関東甲信越地方会評議員

平澤泰宏(部長)／医学博士、日本内科学会認定内科医、日本循環器学会専門医

森澤太一郎(医員)／—

乾 恵輔(医員)／—

診療科だより

糖尿病・内分泌科・消化器科

糖尿病・内分泌科



院長 岡田 憲明

日本内分泌学会や日本糖尿病学会の専門医を中心に、甲状腺疾患や糖尿病を中心とした外来を行っております。とくに糖尿病患者さんは1000名以上通院され、インスリン治療も300例を超えております。きめ細かな治療を行うとともに、管理栄養士による食事指導も積極的に行っております。

合併症の早期発見、早期治療を心がけており、定期的には尿中アルブミン、眼底検査、神経伝導速度、頸動脈超音波やABIなどの検査を行うとともに、循環器科、腎臓内科、眼科、形成外科、整形外科と連携を図り、必要に応じてPCI、人工透析、光凝固などの治療を行い、また各種の壊疽治療も可能な体制を整えております。

インスリン導入による治療も随時可能であり、緊急性の高い糖尿病性ケトアシドーシス(ケトアシドーシス)も積極的に受け入れております。インスリン導入は、基本的には入院にて行っておりますが、外来においても可能な場

合がありますのでご相談ください。

以下のような症例がありましたら、是非ともご紹介をよろしくお願いいたします。

1. 急激な発症で空腹時血糖やHbA1cが非常に高値を呈している症例(ケトアシドーシスやケトアシドーシス症例を含む)
2. SU剤の二次無効でHbA1c>8%の症例(インスリン導入必要症例)
3. 合併症を呈している症例
 - ・尿中蛋白陽性や血清クレアチニン上昇症例、網膜症の存在
 - ・コントロール不良な末梢神経障害(しびれ、疼痛など)や壊疽症例
 - ・心電図で虚血性心疾患が疑われる症例やASOが疑われる症例

内分泌疾患は、とくに甲状腺疾患(バセドウ病や甲状腺機能低下症など)ならびに副腎疾患を中心に内分泌専門医による診察、治療を行っております。疑い症例やたまたま行った腹部CTで副腎の偶発腫が認められた症例でも結構ですので、ご紹介いただければ幸いです。

医療スタッフ

岡田憲明(院長) / 日本医科大学客員講師、日本内分泌学会認定内分泌代謝専門医

小野瀬裕之(医員) / 日本内分泌学会認定内分泌代謝専門医、日本糖尿病学会専門医、日本内科学会認定医

消化器科



部長 長田 祐二

当科は、岡田憲明院長(内分泌、消化器全般)、長田祐二(肝臓、消化器全般)、滝保彦(肝臓、消化器全般)、鈴木健司(上部消化管、消化器全般)、濱本達彦(上部消化管、消化器全般)の5名で消化器疾患の診療にあたっております。

当院は、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器学会認定施設に認定され、医師の教育面でも貢献できる施設になっております。また、B型・C型ウイルス肝炎インターフェロン治療医療費助成制度における東京都肝臓専門医療機関として、肝炎の患者様の医療に携わっております。

内視鏡検査においては、上部内視鏡は月曜から土曜日まで、午前中ルーチンの検査を行っており、吐下血の場合は現在常勤医の在院中であれば、緊急で対応させていただいておりますが、paramedicalを中心としたマンパワーの問題で、夜間は限定した日のみ対応させていただいておりますので、電話でのご確認をお願い致します。粘膜内癌の治療においては、EMRや症例によってはESDを行っておりますので、外来でご相談いただければと存じます。下部消化管内視鏡においては、月曜・火曜日に大腸内視鏡の専門医師を招いてルーチン検査を行っていただいております。それ以外の場合は常勤医が対応致しますので、ご紹介をよろしくお願いいたします。

肝疾患におきましては、東京都肝臓専門医療機関として助成のための診断書の作成、インターフェロン療法の導入、治療後のフォローを行っております。肝細胞癌の診断では超音波、腹部CT、MRI、血管造影が可能です。治療においても当科におけるラジ

オ焼灼術に加え、放射線科による肝動脈塞栓療法、外科による肝切除を行うことができます。肝硬変合併症としての胃食道静脈瘤に対しては、内視鏡的食道静脈瘤結紮術、内視鏡的食道静脈瘤硬化療法、放射線科によるBRTO(バルーン閉塞下逆行性静脈塞栓術)を行うことが可能です。

胆道疾患におきましては、総胆管結石に対する内視鏡的乳頭切開術、内視鏡的乳頭バルーン拡張術、急性化膿性胆管炎に対する内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術、閉塞性黄疸に対するPTCD、胆管ステント留置等を行っております。

膵疾患におきましては、慢性膵炎の膵管狭窄に対するステント留置を行うことができます。膵石に対する内視鏡的な治療は対応可能と考えますが、ESWLの設備がないため破砕が必要な症例には対応できませんので、よろしくお願い致します。最近増加中の膵癌に対する化学療法は外来で行っております。

消化器疾患でお困りの症例がありましたら、ご遠慮なくご相談いただければと存じます。

医療スタッフ

岡田憲明(院長) / 日本医科大学客員講師、日本内科学会認定総合内科専門医、日本内科学会認定内科指導医、日本消化器病学会指導医、日本消化器内視鏡学会専門医

長田祐二(部長、医局長) / 日本内科学会認定総合内科専門医、日本消化器病学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本肝臓学会認定肝臓専門医

滝保彦(部長補佐) / 日本内科学会認定医、日本消化器学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会認定肝臓専門医

鈴木健司(医長) / 日本内科学会認定医、日本消化器学会専門医

濱本達彦(医長) / 日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医

診療科だより

小児科・腎臓内科

小児科

部長 飯塚 雄俊



小児科は、現在常勤医2名体制で診療を行っております。一昨年の一時期に小児科医不足のため、小児科医が夜間不在の日があり、皆様にご迷惑をおかけ致しましたが、現在は非常勤の先生方より手助けをいただき、365日24時間体制で小児救急を継続しております。

博慈会記念総合病院は、時間外、救急医療、特殊外来（一部は博慈会記念こどもクリニックの午後に診療）を担当しております。特殊外来には、小児心臓外来、小児神経外来、小児心理外来、小児腎臓外来、アレルギー外来、予防接種外来、乳児検診があります。特殊外来はすべて予約制ですので、初診の場合は一度一般外来の受診をお願い致します。

小児科病棟は20床あり、そのうち2床は個室になっております。原則的には、付き添い入院をお願いしておりますので、ご紹介時にはご家族の都合をご確認ください。病棟内にはプレイルームを設けており、入院生活が楽しくなりますように努力しております。昨年は、年間600名を超える入院がございました。血液、悪性腫瘍、新生児以外の分野は広く入院加療をさせていただきました。今後とも小児二次救急を継続していきますので、ご紹介をよろしくお願い致します。

医療スタッフ

田島 剛(副院長)／帝京大学医学部非常勤講師、日本小児感染症学会理事、日本小児感染症学会評議員、日本小児科学会代議員、日本小児科学会予防接種・感染症委員会委員、日本小児科学会専門医、日本小児感染症学会運営委員、日本感染症学会専門医、日本感染症学会指導医、日本感染症学会評議員、日本化学療法学会評議員、東京都足立区感染症の診査に関する協議会委員、ICD(インфекションコントロールドクター)認定医、社会保険特別審査員
飯塚雄俊(部長)／日本小児科学会専門医

腎臓内科

医長 西邨 俊吾



現在、慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease=CKD)と呼ばれる、腎臓の病気の患者さんが、全国に1330万人いると言われており、うち透析の患者さんは28万人います。CKDの患者さんは、次に述べる理由からきちんとCKDと認識・診断し、CKDに対し治療を行うことが必要です。

- 1) 透析になる可能性が高く、透析になると生命予後が悪いこと。
- 2) 透析にならなくても心血管疾患(心筋梗塞など)の病気を合併する可能性が高いこと。
- 3) CKDの原因のひとつに糖尿病や高血圧などがあり、患者数が今後、ますます増えると考えられていること

CKDの診断基準は以下のとおりです。

- ①腎臓の病気を疑う所見(尿異常、画像異常、血液異常、病理所見など)があること。
- ②GFR(糸球体ろ過量)が60ml/分/1.73m²であること。
①、②のいずれか、または両方が3ヶ月以上持続すること。

CKDの患者さんを専門医へ紹介する基準は以下のとおりです。

- 1) 蛋白尿が(2+)以上、または0.5g/gクレアチニン

以上出ていること。

- 2) eGFR(推定糸球体ろ過量)が50ml/min/1.73m²未満であること。

3) 蛋白尿と血尿がともに陽性(1+以上)であること。
この診断基準、紹介基準に当てはまる患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽に当科へご紹介ください。当科では、博慈会腎クリニックと連携し、このようなCKDの患者さんの外来・入院・透析導入を含めた、一元的な診断・管理・治療を行っています。

また、CKDなどゆっくり進行をする腎臓の病気だけではなく、急激に進行をする腎臓の病気に関しても積極的に治療を行っています。急激な進行をする腎臓の病気の場合は、生命予後が非常に悪く、早期から集中治療を行うことが大切です。このような場合もご紹介いただければ、原因精査・治療、他の病院への紹介を含め対応いたします。さらに、透析患者さんの入院治療も行っています。透析を行っている患者さんは合併症が多く、どうしても入院をしなければならないことが多いと思います。当院は、総合病院であり、当科への入院はもちろんのこと、他科の病気で治療する必要がある場合も入院が可能ですし、その際は主治医と相談し、治療をサポートいたします。

腎臓の病気は、病状が進行してしまうと、元には戻りません。そのため、早期診断・治療をすることがとても大切です。お困りなことやご相談などがございましたら、お気軽にお声かけください。

医療スタッフ

西邨俊吾(医長)／一

診療科だより 放射線科・外科

放射線科

部長 福永 毅



当施設は、放射線学会の修練機関として認定されており、専門医による以下のようなモダリティを用いた各種画像診断・IVRを行っております。検査後には、フィルム（希望によりCD-Rでの発送も可能です）に読影所見を添付してお送りします。

CT：Philips社製Brilliance16（16列MDCT）。頭部・胸腹部など、全身のスクリーニングから造影剤を用いたdynamic CTやCT-angio（大動脈～四肢・頭部～頸部など）まで対応可能です。



MRI：Philips社製Intera（1.5T）。脳梗塞疑いなど、緊急時は24時間対応可能です。



RI：脳血流・心臓などの専門的な検査から、骨転移のスクリーニングや内分泌系（甲状腺・副甲状腺・副腎疾患など）まで、幅広い領域の検査が可能です。



IVR：一般的な腹部血管造影や肝細胞癌に対する動脈塞栓術、透析シャント狭窄・閉塞に対する血管形成術、CTガイド下での肺生検や膿瘍のドレナージなど対応可能です。



足立区で放射線治療装置（リニアック）が稼動している唯一の施設です。近年の乳癌・前立腺癌・肺癌の増加とともに治療実績も増加しています。



医療スタッフ

堀内淳一（部長）／日本医科大学客員教授、日本医学放射線学会専門医、日本人間ドック学会認定指定医、第8回日本放射線腫瘍学会会長
福永 毅（部長）／日本医学放射線学会専門医

外科

副院長 吉村 和泰



外科では、消化器疾患（胆石、胃癌、大腸癌、肝臓癌、膵臓癌など）を中心にチーム診療を行い、ヘルニア（脱腸）、痔・肛門疾患、乳腺などにも対応いたしております。急性虫垂炎や腸閉塞などの救急患者様の緊急受け入れ体制も万全です。

比較的早期に発見された癌や良性疾患に対しては、腹腔鏡などを用いた低侵襲（傷が小さく患者様にやさしい）手術を積極的に取り入れている一方、進行した癌に対しては、充実したスタッフのもと、高度な技術に裏打ちされた、もう一歩踏み込んだ外科治療と共に放射線治療や抗癌剤治療なども行っております。

また、治療計画をわかりやすく説明したクリティカルパスを「胃癌、大腸癌、肝臓癌、乳癌、胆石、鼠径ヘルニア、内痔核」の入院患者様に採用しており、患者様には安心した病院での入院期間を過ごすことができます。

MRI・CT・超音波・内視鏡等を用いた適確な診断と、

ご高齢の方や合併症のある方でも各科専門医スタッフと検討を重ねることによる「患者様にやさしい治療」を心掛けています。

医療スタッフ

吉安正行（名誉院長）／日本医科大学客員教授、日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会認定医、日本大腸肛門病学会指導医・専門医、身体障害者認定医（膀胱、直腸）、医学博士
吉村和泰（副院長）／日本医科大学客員講師、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、日本大腸肛門病学会専門医、日本大腸肛門病学会指導医、日本消化器病学会専門医、医学博士
沖野哲也（部長）／日本外科学会専門医、日本外科学会指導医、日本消化器病学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、医学博士
富樫晃祥（医長）／日本外科学会外科専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、医学博士
川本聖郎（医員）／日本外科学会専門医、日本消化器病学会専門医、医学博士

診療科だより

脳神経外科・形成外科

脳神経外科

部長 立山 幸次郎



脳神経外科では、この数年で積極的に医療を行える体制を整えてきました。救急体制としては、24時間を通して脳神経外科医が初療から対応することにより、急性期の医療の質を向上し、患者様に良好な経過を得ていただいております。脳梗塞の血栓溶解療法(t-PA療法)、緊急手術も24時間体制で可能です。

最近、脳卒中医療の中でpre-hospitalという言葉が盛んに使われています。これは、脳卒中を起こした患者様がスムーズに医療機関に搬送されることを意図しています。但し、一度脳卒中をきたすと何らかの後遺症を残す事がほとんどです。当科では、pre-strokeをスローガンとして、地域の医療機関と連携を進めています。急性期の患者様

のご紹介を速やかにお受けすることはもちろんとして、基礎疾患のある患者様の診療を積極的に行っております。未然に頭蓋内外の主幹動脈の狭窄、閉塞、未破裂脳動脈瘤、脳動静脈奇形などを診断することにより予防することを目指すものです。

当科で行っている手術は、血管障害を中心に年間で脳動脈瘤手術40件、頸部内頸動脈内膜剥離術20件、浅側頭動脈中大脳動脈吻合術10件弱のほかにも良性腫瘍(髄膜腫、聴神経腫瘍、小脳血管芽腫など)、三叉神経痛・顔面痙攣に対する微小血管減圧術を行っています。安全対策として、定期手術にはそれぞれ適した神経モニタリングを行っており、術中造影なども合わせ、大学病院レベルの手術の安全性向上に努めております。

地域の中で、スムーズに脳神経外科診療ができるよう努力をしております。お気軽にご連絡、ご紹介いただけるようお願い致します。

医療スタッフ

立山幸次郎(部長) / 日本脳神経外科学会専門医
國保倫子(医員) /

形成外科

医長 大木 琴美



形成外科とは、どんな分野か...それは、体表の外科・皮膚の外科と捉えていただくとわかりやすいかもしれません。形成外科では、患者様のニーズや価値観を重んじ、機能面のみならず整容面(見た目)をも重視した治療を心がけております。一般形成外科として、顔面や手足の外傷(切り傷・削げた傷など)や顔面骨骨折、やけどなどの外傷に対応しています。また巻き爪、母斑(ホクロ)、脂漏性角化症(いぼ)、粉瘤(おでき)、などの良性腫瘍に対して小手術を行っています。いわゆる皮膚癌に対しては、再建を考慮した摘出術を計画いたします。

また、特殊な治療として、ケロイド・肥厚性瘢痕(きずあとの盛り上がり)に対して、術後電子線照射療法を含めた集学的治療を行います。顔面骨骨折では3D-CTにより、お顔の立体的な把握ができます。その他、瘢痕拘縮(ひきつれ)の修正手術、治りにくい傷や潰瘍に対する植皮や各種皮弁を用いた対応をしています。耳前瘻孔・

副耳、多合趾症などの先天奇形なども対応可能ですのでご相談ください。より高度な治療が必要な場合などでは、大学病院(主に日本医科大学形成外科)の医師とタイアップ、あるいは適宜ご紹介させていただいております。

また、毎週火曜日午後は、予約制で美容外科外来を開設しております。光治療(フォトフェイシャル)専用の機器Mediluxによって、お肌のきめ・くすみや質感の改善、お化粧ののりの改善などを実感されるのではないのでしょうか。ちょっと気になる、そんなことでもどうぞお気軽にご相談ください。

医療スタッフ

大木琴美(医長) / 医学博士、日本形成外科学会専門医、
熱傷専門医



診療科だより

眼科・泌尿器科

眼科

副院長 富川 節子



人間は、視機能により外界からの情報の80～90%を得ていると言われています。「眼は心の窓」と言われるように、身体的精神的影響も受けやすい器官です。たったピンポン球ぐらいの大きさのこの眼に他の身体に起こるあらゆる病気も存在し、果てしない宇宙を感じます。

現在、白内障手術を中心に手術室での手術件数は、平成21年(1月から12月)は511件でした。平成22年4月から強力な常勤医が加わることになり、さらに手術件数が増える見込みです。白内障手術は、内科合併症がある、高齢者が多い、などから原則入院で行っていますが、他に何も病気がない方、お元気な高齢者にはご希望により日

帰り手術も行っております。私が、当院に赴任して以来1例も重篤な術後感染症を出していないのが誇りです。

日本人の40歳以上のほぼ20人に1人が緑内障であるという統計があります。様々な良い点眼薬が開発され、早期に発見できれば失明の危機を免れることができます。自覚症状が出てからでは手遅れです。40歳を過ぎたら是非一度は眼科で精密検査を受けるようにして下さい。家族、親族に緑内障と診断された方がいる場合は、危険も高くなります。また、近年増加傾向にある加齢黄斑変性症に対する特殊な薬剤の硝子体内注射も、昨年日本で認可されるや早速取り入れており、効果が期待されます。

これからも地域の皆様に頼りにされる眼科でありたいと願っています

医療スタッフ

富川節子(副院長)／日本医科大学客員講師、眼科専門医、日本眼科学会会員、日本眼科手術学会会員、医学博士
村野奈緒(医長)／眼科専門医、日本眼科学会会員、日本眼科手術学会会員、医学博士

泌尿器科

部長 猪股 出



当科は、月曜から土曜日の午前中に一般の外来診療、木曜日の午後に男性性功能ED・男性不妊症の特殊外来を行っています。

悪性腫瘍・前立腺肥大症をはじめ、高齢者の尿路管理など、泌尿器科領域全般にわたり診断治療を行っています。さらに男性性功能・男性不妊症を専門とするスタッフがあり、永尾医師(第1、第3木曜日担当)は、性器の諸手術・小児期の諸疾患の手術の第一人者です。当科の手術は、週3日(月・水・木曜日)に行っています。一部の特殊検査・治療については、「東邦医科大学・日本医科大学・慈恵医科大学病院」に紹介しています。自然排石しない腎・尿管結石については、ESWL(衝撃波破碎法)を目的に「勝和会病院(竹の塚)・明理会中央総合病院(東

十条)」と連携診療を密接に行い、最先端の治療を目指しています。また、近隣の医療施設との病診連携も円滑に行われ、多くの患者様をご紹介いただいております。地域医療における泌尿器科領域の中核として活動しています。

医療スタッフ

猪股 出(部長)／日本泌尿器科学会専門医、日本病理学会認定病理医、細胞診指導医
白井将文(顧問)／東邦大学名誉教授、日本泌尿器科学会専門医、日本泌尿器科学会指導医、日本心身医学会認定医、日本心身医学会指導医
永尾光一(非常勤)／東邦大学教授、日本泌尿器科学会指導医



診療科だより **整形外科・歯科口腔外科**

整形外科



部長 星野 瑞

整形外科は、常勤スタッフ4名体制で診療を行っております。脊椎変性疾患、脊椎外傷、末梢神経障害、慢性関節疾患、スポーツ外傷、四肢骨折等に幅広く対応し、その診断・外科的・保存的治療を行っています。

脊椎・末梢神経疾患領域では症例に応じて、顕微鏡下手術・術中モニタリング・手術の安全性・確実性向上のための超音波骨メスの使用・神経伝導検査・脊髄電気刺激療法・各種神経ブロック等を行っています。慢性関節疾患では、低侵襲な人工関節手術を施行しています。また、人工関節のみならず、年齢等に応じて白蓋回転骨切り術や高位脛骨骨切り術も行っています。

高齢化に伴い、大腿骨頸部骨折は増加の一途を辿っています。当院は足立区の頸部骨折に対する医療連携の事務局となっておりますので、頸部骨折の患者様の受け入れを充実させ、当院内科医師と連携を図って、安全かつ早期に手術的治療を行っています。

平成22年4月26日より、関連施設である老人病研究所附属病院に外来通院専門のリハビリテーション室を新設いたしました。これにより、入院リハビリテーションと併せた、より充実した治療を行っています。また、外来通院リハビリ新設により、高齢化社会におけるロコモティブシンドロームに対するリハビリ、スポーツリハビリ、慢性疼痛に対する消炎・鎮痛などに幅広く対応可能となりました。初めて通院リハビリテーションを希望される患者様は、まず博慈会記念総合病院の整形外科外来にご紹介ください。

皆様方のご要望に応えられるよう、これからも一貫とした治療のできる整形外科の確立に一層努力していく所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

医療スタッフ

- 星野 瑞(部長) / 医学博士、日本整形外科学会認定医、日本整形外科脊椎脊髄病医、整形外科スポーツ医、整形外科リウマチ医、麻酔科標榜医、東京都身体障害者診断医
- 山崎秀興(部長補佐) / 日本整形外科学会認定医、整形外科学会リウマチ医
- 谷口久樹(医長) / 日本整形外科学会認定医、整形外科リウマチ医
- 池見佳一郎(医長) / ー



歯科口腔外科



部長 岩瀬 正泰

当科の特徴

当科は、地域の歯科開業医との連携を密に、一般歯科治療を行わず口腔外科専門施設として機能しております。当科は総合病院に属し、基礎疾患を有する患者さんにも全身状態に十分留意して、適切に診療致します。更に、専門性の必要な疾患には大学病院や癌専門病院と連携を図り、高次医療の提供を行っています。当科は、厚生労働省の歯科医師臨床研修指定病院に認定されており、日々歯科臨床の向上および教育にも積極的に取り組んでいます。当科の診療内容

歯科口腔外科の診療領域の対象は、原則として口唇、頬粘膜、上下歯槽、硬口蓋、舌前3分の2、口腔底、軟口蓋、顎骨(顎関節を含む)、唾液腺(耳下腺を除く)を加える部位です。
抜歯(過剰歯/埋伏歯など)

- 奇形/変形(小帯異常/唇顎口蓋裂/顎骨変形症など)
- 損傷(歯の脱臼/歯の破折/顎骨骨折/口腔粘膜損傷など)
- 炎症(口内炎などの口腔粘膜疾患/顎炎/口腔蜂窩織炎など)
- 嚢胞(顎骨嚢胞/唾液腺嚢胞など)
- 腫瘍(口腔癌/顎骨良性腫瘍/口腔粘膜良性腫瘍など)
- 顎関節疾患(顎関節症/顎関節脱臼など)
- 唾液腺疾患(唾石症/シェーグレン症候群など)
- 神経疾患(三叉神経痛/三叉神経麻痺/顔面神経麻痺など)
- 口腔心身症
- 有病者(高血圧症/脳卒中/心疾患/肝臓疾患/腎臓疾患/呼吸器疾患/血液疾患/糖尿病など)の歯科治療
- デンタルインプラント

医療スタッフ

- 岩瀬正泰(部長) / 日本口腔外科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、ICD(感染症コントロールドクター)、日本炎症再生医学会評議員、Oral Oncology Editorial Board、歯学博士、鶴見大学非常勤講師、昭和大学兼任講師
- 立花 愛(医員) / ー
- 唐木隆史(研修医) / ー
- 菊田 徹(非常勤医員) / 日本矯正歯科学会認定医

特殊・専門領域診療一覧表

(平成22年4月1日現在)

博慈会記念総合病院	
第2内科(消化器科)	肝臓病(長田・滝)
第3内科(循環器科)	不整脈・カテーテル焼灼術可能(平澤) 睡眠時無呼吸(岡崎)
放射線科	放射線治療(堀内) 血管内手術・カテーテル治療(福永)
整形外科	脊椎,人工関節,腫瘍,末梢神経, スポーツ,リウマチ
形成外科	しみ・しわ,ケロイド・きずあと,顔面外傷
歯科・口腔外科	インプラント,腫瘍,口腔顎顔面外傷
健康管理センター	人間ドック(1日,2日,各種オプション)

老人病研究所附属病院	
内科	物忘れ外来・脳血流評価(核医学検査)可能(福生)
麻酔科	ペインクリニック(唐澤)
泌尿器科	男性不妊,ED(白井)
博慈会腎クリニック	
腎臓内科	血液透析,腹膜透析(大沢)
博慈会記念こどもクリニック	
小児科	健診,予防接種, 心臓,腎臓,神経,心理,喘息・アレルギー



当院が世話人を担当している足立区医師会疾患別ネットワーク

疾患別	代表世話人	当院世話人
脳卒中ネットワーク (地域連携バス運用中)		博慈会記念総合病院 脳神経外科部長 立山幸次郎
呼吸器(肺癌)ネットワーク (地域連携バス運用中)		博慈会記念総合病院 呼吸器科部長 竹中圭
循環器ネットワーク (循環器フォーラム開催中)	博慈会記念総合病院 医療統括責任者 小川剛	博慈会記念総合病院 筆頭副院長 田中邦夫
大腿骨頸部骨折ネットワーク (地域連携バス運用中)	博慈会記念総合病院 整形外科部長 星野瑞	
認知症ネットワーク(研究会) (板橋区、練馬区と連携構築中)		博慈会記念総合病院 老人病研究所 所長 福生吉裕
糖尿病(ADMS) (ADMSとして活動中)		博慈会記念総合病院 院長 岡田憲明
C型肝炎 (東京都の重点疾患として展開中)	博慈会記念総合病院 院長 岡田憲明	博慈会記念総合病院 消化器科部長 長田祐二
大腸癌 (区検診の一環として活動中)		博慈会記念総合病院 外科部長 沖野哲也
ピロリ菌 (ヘブシノーゲン検診の発展、モデル事業)		博慈会記念総合病院 院長 岡田憲明
地域医療連携担当者会	事務局 博慈会記念総合病院 地域連携科	

各部門からのお知らせ

リハビリテーション科

科長 武下 裕

外来リハビリテーションのご案内

平成22年4月26日から、老人病研究所附属病院外来リハビリテーションを開設致しました。主に整形外科疾患の患者さまを対象とした、整形外科の術後、骨折後、交通事故後、変形性膝関節症、スポーツ障害などに対する機能回復訓練を行う運動器リハビリテーションⅡと電気療法、牽引などの消炎鎮痛処置も行っています。

- ・受付時間 8:30~12:00
13:30~16:00
- ・休診日 毎週水曜日・日曜日・祝日



外来リハビリテーション室

○外来リハビリテーションのご利用上の注意点

- ・リハビリを受けるにあたり、博慈会記念総合病院の整形外科による診察が必要です。
- ・他院でリハビリを受けている方は、当院でのリハビリを受けることは出来ません。
- ・原則的に、介護保険サービスと医療保健サービスの併用は出来ません。

- ・運動器リハビリテーションⅡでのリハビリには日数制限があります。日数制限を越えた場合には、介護保険サービス等への移行案内をさせていただきます。
- ・消炎・鎮痛処置・牽引には日数制限はありません。

○治療法について

- ・運動器リハビリテーションⅡ
理学療法士(PT)が、障害となるような関節可動域制限や筋力低下、体力低下に対して、関節可動域訓練や筋力向上訓練、歩行訓練などの運動療法を実施しています。
- ・消炎・鎮痛処置
首や肩の痛み、腰痛など、筋肉の疼痛緩和を目的に、電気療法や水治療法、牽引などの物理療法を実施しています。



ウォーターベッドマッサージアクアタイザー



腰椎牽引機

グループ施設紹介

〔 老人病研究所 附属病院 〕

院長 小倉 篤

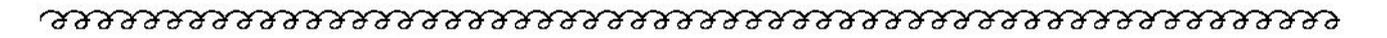


老人病研究所附属病院は昭和51年8月に設立され、30数年にわたり地域の医療関係者および住民の皆様方のご支援により、財団法人博慈会の一員として老人医療に貢献してきてことができました。平成14年12月に当院は、156床の完全型療養病床（医療保険104床・介護保険52床）として再スタートを切り、長期療養に対応可能となりました。ますます進む高齢化社会に寄与するため、慢性期の老人医療を中心に取り組んでいます。

当院の医療体制は、常勤医師3名と非常勤医師2名体制で行っており、看護職員30名のほかに介護職員（有資格者）

40名を配置しています。入院患者様の医療行為および日常生活を援助し、自然体で長期療養生活を送れるよう、個室16.16㎡、大部屋（4名）34.11㎡と、ゆったりとした病室となっております。また、ベッドは全て電動仕様で、褥瘡対応除圧マットを使用しております。最上階には、レストランを完備しており、患者様のご家族をはじめ、多くの皆様にご利用いただいています。外来診療は、一般内科、泌尿器科、もの忘れ外来、ペイン外来、その他巻き爪治療を行っており、入院患者様の外科系疾患については、連携している博慈会記念総合病院において診療を行っております。また、平成22年4月26日からは、リハビリテーション科を標榜し、リハビリテーション外来をスタートいたしました。入院、その他、詳細やご質問はお気軽にご連絡ください。

今後も地域に貢献する医療に邁進してまいりますので、皆様の変わらぬご支援を頂戴いたしたく、心からお願い申し上げます。



〔 博慈会 腎クリニック 〕

院長 大沢 弘和



当クリニックは、博慈会記念総合病院の関連診療施設として、平成9年3月に開設された、36ベットを有する人工透析クリニックです。

月曜から土曜日の人工透析と、月・木・土曜日に腎臓内科診療を行っています。原発性糸球体腎炎やネフローゼ症候群、膠原病に伴う腎障害、糖尿病性腎症、痛風や高尿酸血症に伴う腎障害、高血圧（本態性、二次性）、急性及び慢性腎不全、電解質異常、腎移植のマネージメントなどを専門としています。

透析部門では、安全で

質の高い透析を行うため、最先端の器材と装置を導入し、私たちがこれまで培ったノウハウと最新の技術を駆使しています。透析患者様の様々な合併症に的確に対応できるよう必要な検査を行い、データに基づいて各患者様に最適な、きめの細かい対応を行っています。また隣接する博慈会記念総合病院の医療技術を活かし、緊急時にも速やかに対応できる体制になっております。必要に応じて、CT・MRI・脳血流SPECT・消化管ファイバーなどの高度な検査・治療を行える点や、合併症により専門診療科への対応や入院も行っている点などが、大きな特色となっております。通院が困難な透析患者様のため、自宅前から当クリニックまでの送迎を行っております。（※車いす仕様車も運行）お食事は、博慈会記念総合病院の栄養士による手作りのものを提供し、家庭的な雰囲気を大切に、真剣な中にも笑いのあった和みのある透析室を心がけています。

通院されている患者様の尊厳を守る心のこもった医療を目指し、スタッフ一同、日々努力して参ります。



小児科医として 地域医療を考える

博慈会記念総合病院 副院長
博慈会記念こどもクリニック
院長 田島 剛



博慈会だよりをお読みになされている皆様には日頃から博慈会の各医療機関をご利用いただきありがとうございます。皆様からいただくご意見の一つ一つが財団の医療を向上させる大きな指針となってまいります。ぜひ、お気づきの点につきましてはご面倒でも職員にお伝えいただければ幸いです。

田島が博慈会記念総合病院の小児科で働くようになって16年になります。その間、時代の変遷とともに常勤医の数、小児科病棟・外来の場所、病床数などさまざまな変化がありました。昨年5月1日に小児科外来が「博慈会記念こどもクリニック」として、元産院ソレイユの場所に移転し開院いたしました。診療内容、形態は今までどおり大きな変化はありませんが、独立したことによってお子様たちがより安心して診察を受けられるようになったと言っただけのように職員一同努力してまいりたいと思います。

さて、博慈会の小児科が地域医療の中で担っている役割も年々重要性を増していると感じています。しかし、昨今の小児科医不足の影響で大変厳しい運営を余儀なくされています。新型インフルエンザ流行期の当直では一晩で100人近くの小児を救急外来で診察しました。寄る年波とマン・パワー不足は如何ともしがたく患者様にご迷惑をおかけしていることを大変心苦しく思っています。それでも、足立区内で24時間365日救急診療を行い、入院施設を持っている唯一の小児科として機能を維持していくことは足立区内および周辺にお住まいのこども達にとって不可欠なことだと確信しています。関係する行政の方々、医師会の先生方、市民団体の方々などの応援を心から



点滴室

願ひ申し上げます。

前述しましたように、博慈会の小児科が担う機能として、区内唯一の小児科病棟を持っていることは大きな比重を占めていると考えます。皆様がよくご存知のように足立区の人口は約66万で、単純に比較すると同程度の人口の県はいくつもあります。一つの県に小児の入院を診る病院が一つもないなどという状況が考えられるでしょうか。昨年10月にも新型インフルエンザによる急性脳症の小児が入院しました。博慈会記念総合病院には最新のMRI設備があります。急性脳症の診断と治療には脳波検査とMRI検査が必須です。同時に、この点が重要なのですが、頼めばすぐに検査してくれる優秀なスタッフがいることは設備がある以上にありがたいことです。大変幸いなことにこの患者様は現在後遺症もなく退院することができました。本当にスタッフのおかげだと感謝しています。

小児科病棟についていえば、病床数が着任当時に比較して多くなっていますが、最も重要な変化は専任の病棟保育士を雇っていただき、プレイルームを設けたことでしょう。辛くて、暗い気持ちで入院することも達にとって、少しでもやわらいだ気持ちになり、楽しく(?)入院生活を送ることができるようになったことは大きな進歩だと自負しています。欧米では入院することも達の権利を大変重く考えていますが、わが国ではまだまだ理解されていません。少しでも家庭で看護しているのと近い状態で入院生活を送れるように、職員が工夫をしています。こども達ばかりではなくご家族にとっても、とてもよい効果が得られています。退院する患者様やご家族の方からいただくお礼の言葉はこの仕事をしている人間にとって一番のご褒美ですが、最もお褒めの言葉をいただいているのは病棟保育士の河野先生です。保育士の役割の大きさがご理解いただけたと思います。

少々長くなりましたが、最後に地域の中で十分な働きのできる小児科を維持していくために皆様のご援助をお願いして終わりにしたいと思います。



プレイコーナー

診療体制紹介

厚生労働省臨床研修病院・東京都災害拠点病院
博慈会記念総合病院

〒123-0864 足立区鹿浜5-11-1
 TEL: 03-3899-1311(大代表)
 http://www.hakujikai.or.jp E-mail info@hakujikai.or.jp

外来診療は日曜・祝祭日は休診となります。なお、急患は24時間いつでも受付をしております。
 (内科系・外科系・小児科担当の医師が常時院内待機しております。)

外来診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
第1内科(呼吸器)	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
第2内科(消化器)	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
第3内科(循環器)	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
第4内科(糖尿病)	午前8:00~12:00	△	△	○	△	△	○
	午後1:30~4:00	△	△	○	△	△	○
第5内科(神経内科)	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	△
内科総合外来	午後1:30~4:00	○	○	○	○	○	○
放射線科	午前8:00~12:00	○	○	○*	○	○	○
精神神経科	午前8:00~12:00	△	△	△	△	○*	△
	午後1:30~4:00	△	△	△	△	○*	△
眼科	午前8:00~12:00	○	△	△	○	○	○
	午後1:30~4:00	△	○	○	△	△	△

外来診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
小児科(特殊外来)	午後1:30~4:00	△	△	△	△	△	△
外科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
脳神経外科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
整形外科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
耳鼻咽喉科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	△
	午後1:30~4:00	○	■	△	○	△	△
皮膚科	午前8:00~12:00	○	△	○	△	○	△
	午後1:30~4:00	○	△	○	△	○	△
形成外科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
	午後1:30~4:00	●	●	△	△	△	△
歯科口腔外科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
	午後1:30~4:00	○	○	○	○	○	△

※○は一般外来、△は予約および特殊外来です。 ※記念総合病院の初診受付は、午前は8:30から、午後は1:30から受け付けております。
 ※歯科口腔外科の午後の診療は救急と往診が中心になります。 ※形成外科の外来は午前中です。午後は美容外科(●印の月・火・木)です。
 ※★は第2・4・5水曜日の一般外来診療を行っております。 ※耳鼻咽喉科■は、第1・3・4・5に外来診療を行っております。
 ※精神神経科☆は、再診の患者さまのみの受付となります。

博慈会腎クリニック

〒123-0864 足立区鹿浜5-5-18
 TEL: 03-3856-7011(大代表)

外来診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
腎臓内科	午前8:00~12:00	○	△	△	○	△	○
	午後1:30~4:00	△	△	△	△	△	△
血液透析	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
	午後1:30~4:00	○	△	△	○	○	△

※△は予約および特殊外来です。 ※透析は、祭日も行っています。

老人病研究所附属病院

〒123-0864 足立区鹿浜5-13-7
 TEL: 03-3899-7011(大代表)

外来診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
一般内科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	△
泌尿器科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
	午後1:30~4:00	△	△	△	△	△	△
ペインクリニック	午前8:00~12:00	△	△	△	○	△	△
もの忘れ外来	午前10:00~12:00	△	△	△	△	△	△
リハビリテーション科	午前8:00~12:00	△	△	△	△	△	△
	午後1:30~4:00	△	△	△	△	△	△

※△は予約および特殊外来です。

小児科救急医療24時間対応

博慈会記念こどもクリニック

〒123-0864 足立区鹿浜5-14-8
 TEL: 03-3897-1311(大代表)

外来診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
小児科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
	午後1:30~4:00	△	△	△	△	△	△

※△は予約および特殊外来です。

特殊外来のご案内

- 博慈会記念総合病院
 - 〈小児科〉心臓外来…火曜日午後 神経外来…水曜日午後
 - 腎臓外来…木曜日午後 心理外来…水曜日午後
 - 〈外科〉乳がん検診…診療時間内常時
 - 〈内科〉足立区健診・特定健診等…事前にご連絡をお願いします。
 - 就寝時、証明のための健康診断…診療時間内常時
 - ※就寝時の健康診断は、午前は混み合うため午後をおすすめします。
- 博慈会腎クリニック 腎臓内科…月・水・土曜日午前 腹膜透析…木曜日午後
- 博慈会記念こどもクリニック 予防接種…月曜日午後
- 乳児健診…木曜日午後
- アレルギー外来…木・金曜日午後
- 老人病研究所附属病院
 - 〈泌尿器科〉リプロ(不妊・性機能) 外来…木曜日午後(要電話予約)
 - 〈ペインクリニック〉…木曜日午前
 - 〈もの忘れ外来〉…火曜日午前(要電話予約)

関連施設

- 老人病研究所
- 博慈会高等看護学校
- 太陽保育園

健康管理センター案内

- 人間ドック
 - 日帰りコース・1泊2日コース
 - 脳ドック・肺ドック
 - 事業所健診
 - 地域事業所の職員の方を対象に行っております。
- ご予約・ご相談のお電話お待ちしております。
- フリーダイヤル
 0120-311-100



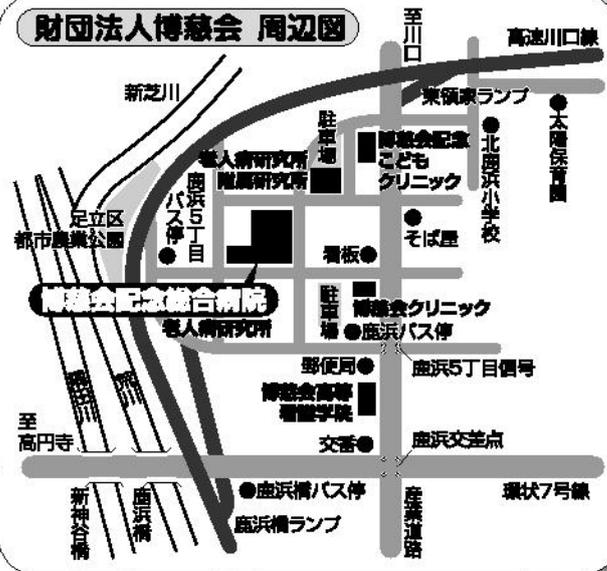


周辺探訪

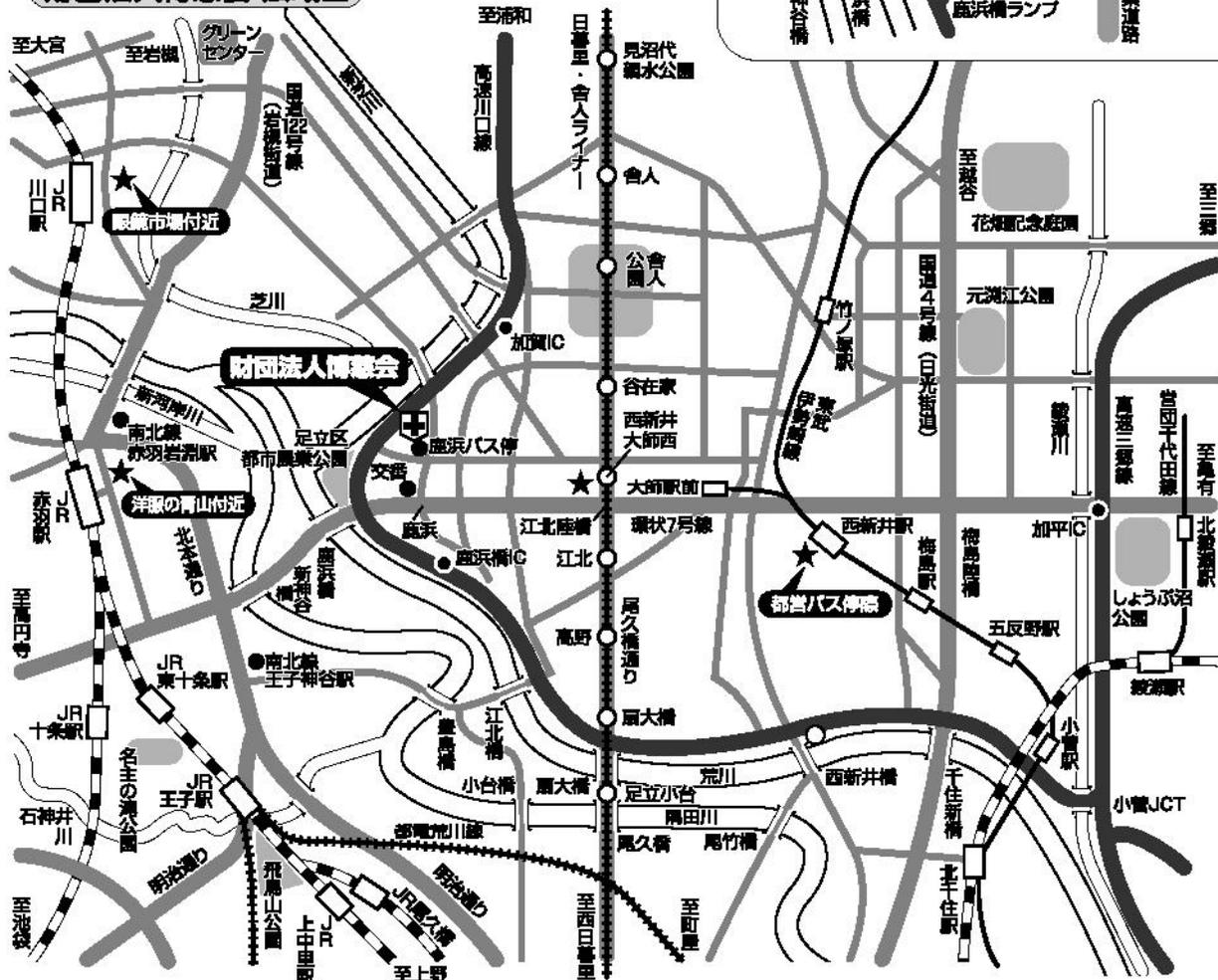
川口市立グリーンセンター

埼玉県川口市新井宿にある「川口市立グリーンセンター」を散策してきました。戦後すぐに農業振興の指導農場として設立され、今では日本の都市公園100選に選出された名公園であり、農業振興及び緑地保全とレクリエーション施設として、市民の憩いの場所となっています。園内は、武蔵野の面影を残す自然林と植物園や庭園など、四季折々の植物が観賞できます。わんぱく広場では、全長600mを走るミニSLや展望滑り台、アスレチックなどの大型遊具がたくさん備えられています。また、流水プールやアイススケート場なども併設されていて、四季を通じてどなたでも楽しめる公園です。

財団法人博慈会 周辺図



財団法人博慈会 広域図



交通案内

- 東武伊勢崎線「西新井駅」、都営日暮里合人ライナー「西新井大師西駅」より、鹿浜都市農業公園行バス、または赤羽駅東口行(荒川大橋経由)バスで「鹿浜」下車、徒歩1分。
- JR線「赤羽駅」東口より、西新井駅行(荒川大橋経由)バスで「鹿浜」下車、徒歩1分。
- JR線「川口駅」東口より、鹿浜・領家循環バスで「鹿浜」下車、徒歩1分。
- JR線「王子駅」北口より、足立区役所行または千住車庫行バスで「鹿浜橋」下車、徒歩15分。
- お車
西新井及び王子・赤羽方面から車で来院される方は、環状七号線・鹿浜交差点を「川口」の標識に従って曲がり、信号4つ目の先(看板あり)を左折が便利です。なお、当院には150台分の有料駐車場があります(1時間100円)。
- 送迎バス/博慈会記念総合病院と東武伊勢崎線「西新井駅」、日暮里合人ライナー「西新井大師西駅」、東京メトロ南北線「赤羽岩淵駅」、JR線「赤羽駅・川口駅」(駅構内には入りません)との間に無料送迎バスを運行しています。病院へ来られる方は、どなたでもご利用いただけます。尚、日曜・祝日の運行はありませんので、ご了承ください。(★乗り場目印)

編集後記

平成22年4月に博慈会記念総合病院の院長をはじめ、法人としての組織改編が行われました。各関係の皆様方には、前任者同様の変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。次号は1月頃の発行を予定しております。

「博慈会だより」第28号 平成22年7月1日発行
 財団法人 博慈会 博慈会だより編集委員会
 東京都足立区鹿浜5-11-1
 TEL: 03-3889-1311 (代表)